

厚生労働省委託事業 発達障害者就労支援者育成事業
北陸信越ブロック講習会開催案内

発達障害のある人の就労を進めるために

～今日からあなたも就労支援者～

- ◆ 日時：平成24年2月13日（月曜日） 13:30～16:30（13時より受付開始）
- ◆ 場所：メルパルク長野（長野駅東口より徒歩5分）
- ◆ 参加費：無料
- ◆ 定員：100人（定員オーバーの場合のみ、ご連絡いたします）
- ◆ 対象者：発達障害の方の支援に関わる人（福祉、教育、医療）、企業の人事担当者、発達障害がある人の家族など

◆ プログラム

13:30～14:20 個別対応×個別支援でつながる就労・自立へ
～若者支援における発達障害者支援の現場から～

講師：中野 謙作氏（とちぎ若者サポートステーション所長）

14:30～16:00 様々なステージでの支援の現場から

◆ 高等学校での支援

発達障害者支援専門員として実践の現場から

新保 文彦氏、越川 睦美氏（平成23年度発達支援員）

◆ 大学における支援の現状と課題

大学での支援も始まっているが、そこでの支援の現状と、見えてきた課題

高橋 知音教授（信州大学教育学部）

◆ 企業からの発信（株）Kaizen

発達障害の方が強み、特性を活かした仕事に就き、活躍することを応援する
プロフェッショナルファームです・・・Kaizenホームページより

鈴木 慶太氏（同社代表取締役）

参加ご希望の方は申込用紙に記入の上 FAX でお申し込みください。

事務局：社会福祉法人ともいき会

連絡先：（電話）026-299-3787 （FAX）026-299-383

9

Eメール：center@with-nagano.com

担当者：越川

講師紹介(順不同・敬称略)

◆ 高橋 知音 信州大学教育学部教授



1992年筑波大学大学院教育研究科修了。99年 University of Georgia, Graduate School of Education 修了 (Ph. D.)。1996年信州大学講師、1999年助教授、2007年准教授を経て2010年より現職。

専門は教育心理学、臨床心理学。発達障害のある人のアセスメントに使える検査の開発や支援のあり方が研究テーマ。

著書に『ADHD コーチング—大学生活を成功に導く援助技法—(共同監訳、明石書店)、『大学・高校のLD・AD/HD・高機能自閉症の支援のためのヒント集—あなたが明日からできること』(分担執筆、黎明書房)などがある。4月には『発達障害のある大学生のキャンパスライフサポートブック』(学研)を出版予定。

◆ 中野 謙作

一般社団法人 栃木県若年者支援機構理事長、厚生労働省委託事業とちぎ若者サポートステーションセンター長、高根沢町教育委員会教育委員(2期目)、高認支援プロジェクト協議会会長、とちぎユースワークカレッジスーパーバイザー、NPO法人とちぎボランティアネットワーク理事、NPO法人アウシュビッツ平和博物館理事



高校中退して非行に走ったA子と少年院出のB男との出会いから子ども・若者支援に走り出す。1994年、不登校・ひきこもり・非行・いじめに関する「とちぎ教育ネットワーク」を構築。その後「フリースクール学び舎コア」「高根沢町フリースペース」はじめ子ども・若者支援の様々な仕組みを構築する。子ども・若者一人ひとりに向き合う中から「わずか一人でも必要ならばネットワークを駆使してつくる」という考え方に徹した支援を推進してきた。それが現在の「栃木の支援スタイル」になっている。「栃木の主流はあくまで個別対応×個別支援」という熱意のもとに現在も若者支援のため日々奔走中。

◆ 鈴木 慶太 (株) Kaien 代表取締役



2000年、東京大学経済学部卒。NHKアナウンサーとして報道・制作を担当。'07年からKellogg(ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院)留学。MBA。渡米中、長男の診断を機に発達障害の能力を活かしたビジネスモデルを研究。帰国後Kaienを創業。

Kaienでは発達障害の長所を活かした職種を企業に開拓しているほか、東京と横浜で発達障害者のための職業訓練を実施。働く上で必要な対人関係・コミュニケーション力を実際の職場に近い環境で疑似体験するプログラムで、全国から申込み・問い合わせがある。登録者は約400人。これまで約50人に訓練、約30人が就職している。今年からはTEENS(テ

